

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	長期性能検討小委員会	主 査 名：大野義照 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鉄筋コンクリート構造運営委員会)	委員長名：和田 章 主 査 名：林 静雄
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ RC 構造の性能評価および性能評価型設計法の確立、国際化への対応に重要である常時荷重(長期荷重)下のたわみやひび割れなどに関する諸問題について、既往の成果を整理するとともに、新たな解決に向けて検討する。 ・ 初年度：既往の研究の整理、諸外国指針等の調査 ・ 2 年目：現状に照らし合わせた時の設計法の問題点の抽出 ・ 3 年目：RC 規準の改訂に向けて、床スラブ及びひび割れ・たわみに関する改定原案の作成 ・ 4 年目：報告書の作成と出版 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 大野義照(大阪大学) 稲葉洋平(鹿島技術研究所) 太田義弘(竹中工務店技術研究所) 岸本一蔵(大阪大学) 小柳光生(大林組技術研究所) 坂田弘安(東京工業大学) 佐々木仁(フジタ技術センター) 佐藤眞一郎(日本カイザー) 福島順一(大成建設) 前田信之(清水建設) 山野辺宏治(清水建設技術研究所) 楠原文雄(東京大学) 今本啓一(足利工業大学) 金子佳生(東北大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	無	
2006 年度予算	350,000 円	ホームページ公開の有無： 無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 常時荷重下のひびわれ幅とたわみに関する研究の現状を整理し問題点を抽出した。 2. 常時荷重(長期荷重)に対する RC 構造の設計体系について検討した。 3. スラブや小梁に関して、それら部材の要求性能との関連で配筋等の構造性能を整理し、設計法について議論した。ほぼ当初の活動計画を達成した。
委員会活動の問題点・課題	1. 特になし